

インフラの未来を考えるワークショップ ～超スマート社会・Society5.0を社会インフラから考える～

- 9月5日、富士ゼロックスお客様共創ラボラトリーにおいて、**社会インフラの未来の姿に向けて、必要とされる革新的技術やオープンデータを見出し、技術開発や技術融合に結びつけていく**ため、多様な背景を持つ参加者が集まり、社会インフラの未来シナリオの作成に向けて本WSを実施しました。
- 国土交通省では、今後中堅・若手職員が中心となり、**2030年頃のあるべき日本社会を構想し、それに向けた国土交通行政のあり方を提言していくこととしており、本WSで得られた知見を活かしていきます。**

開催概要

〈プログラム〉（9月5日（火）10:00～16:30）

本日の進め方の説明、キーノートスピーチ、ワークショップ（セッション1～4）、各班からの発表、本日のまとめ

〈参加者〉

約70名（実行委員による招待参加者、国民会議会員、IoT推進ラボ会員、事務局（富士ゼロックス株式会社、実行委員、国土交通省））

未来シナリオの検討プロセス

未来がイメージできる
キーノートスピーチ



チームに分かれて
未来の姿を検討



未来のプロトタイプ
作成



未来シナリオ
の作成

ワークショップの進め方

- ・ 参加者は6チームに分かれ、それぞれテーマを決めて未来シナリオを作成
- ・ 各チームには、未来シナリオづくりをファシリテーターがお手伝い
- ・ 会場に備え付け電子付箋システムやプロトタイプ素材を使って具体的な未来シナリオを作成



キーノートスピーチ

富士ゼロックス株式会社 価値創造コンサルティング部 仙石太郎氏



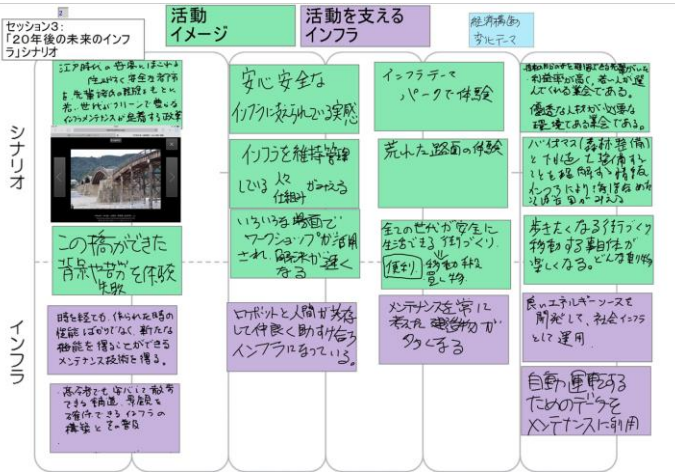
会場の様子

インフラの未来を考えるワークショップ ～超スマート社会・Society5.0を社会インフラから考える～

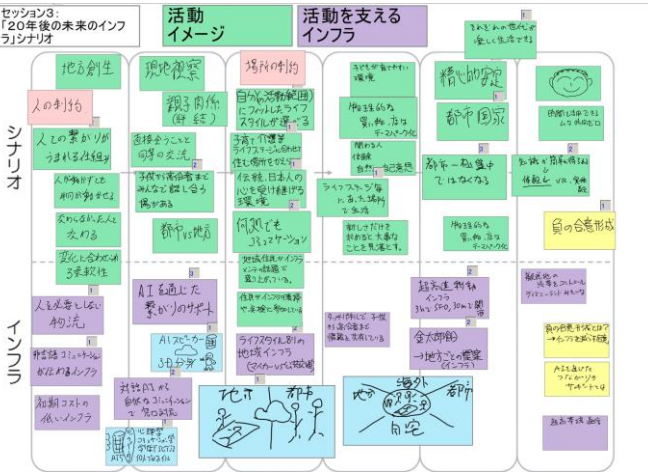
各班の未来シナリオイメージ

それぞれが思い描く「活動イメージ」と「その活動を支えるインフラ」を電子付箋で整理・分類しました。今後は、これらの我々の未来の暮らしや経済の活動とそれを支えるインフラの関係を未来シナリオとしてストーリー風に整理していく予定です。

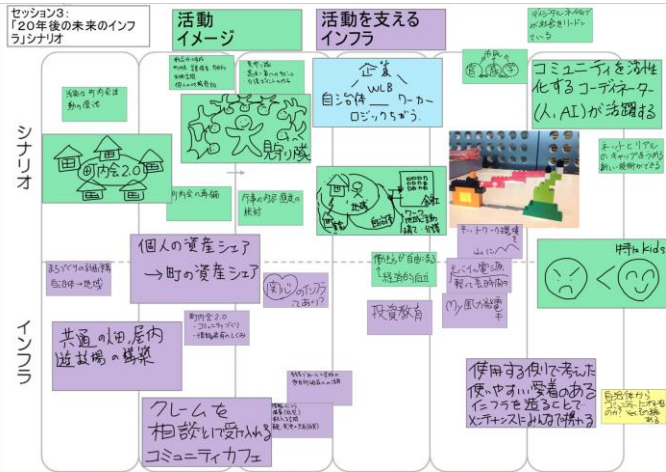
1班



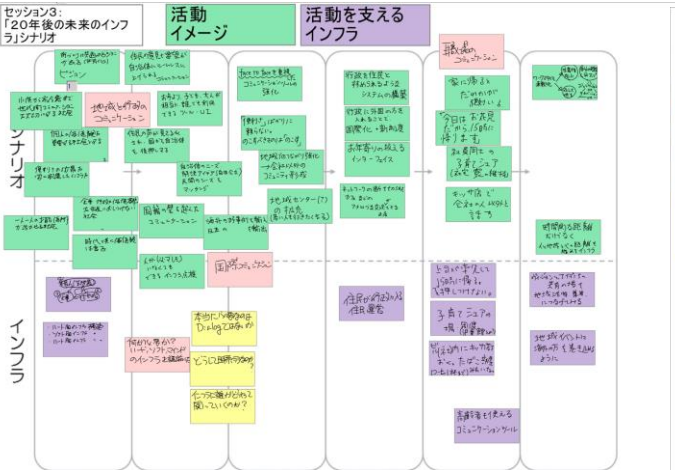
2班



3班



4班



5班



6班

